

対象	小学校中学年以上
教科	理科
該当 単元	小学3年 「こん虫を 調べよう」 ・ こん虫のなかま
教科書	東京書籍等
掲載日	2017. 8. 31. 朝刊 三重総合版

四日市の谷口君 カブトムシまんV

石川の昆虫館

飼育、採集したカブトムシの大きさを競う「ぼくの、わたしのカブトムシまん」の表彰式が、石川県白山市の県ふれあい昆虫館であ

り、四日市市の小学生、谷口匠君が優勝した。

同館が毎年夏に主催しており、今年は七月十五日～八月二十日に幼児から小学生を中心に県内外の百二十四人が応募した。大きさは口から尻までの長さを計測。一～三位はいずれも小学生で、一位の谷口君のカブトムシは五八・〇七ミリだった。

小ささを競う「ミニカブトムシまん」の一位は金沢市の小学生、畠下虎太郎君の二五・四ミリだった。

(谷口大河)

問1：「カブトムシまん」大会は、どんな大会なのか、^{きじ}記事をよく読んで()に入る^{ことば}言葉を書きましょう。

()や()したカブトムシの

()や()を^{きそ}競う大会。

問2：優勝した谷口君と畠下君のカブトムシの大きさを、下の^{じょうぎ}口に定規を使って線で表して、くらべてみましょう。

谷口君・

畠下君・

発展：学校で学習したことを^ふ振り返りながら()に入る^{ことば}言葉を考えましょう。

こん虫の^{せいちゆう}成虫のからだは、どれも^{あたま}頭・()・()から

できています。カブトムシの大きなのは()にあります。

【活用にあたって】

3年生から始まった理科の学習。最初に外に出て植物や虫を探るところから学習が始まります。子どもたちは好奇心いっぱいの目と心で身のまわりを観察し始めます。

中には虫が苦手な子もいますが、探したり観察したりすることは皆大好きなようです。昆虫の中でもクワガタと共にカブトムシは興味のある虫の代表格です。見出しにある「カブトじまん」という言葉に惹かれる子も多いのではないのでしょうか。

この記事には残念ながら写真がないので、大きさを線で表すという問いを設定しました。こんなに大きいと感ずるのか、これなら僕のカブトの方が勝つと感ずるのか、楽しみながら取り組んでもらえるとよいです。

記事は先生が読んであげて下さい。

解答例

問1： 飼育・採集・大きさ・小ささ

問2： だいたい58. 1ミリと25. 4ミリの線がかけていけばよいでしょう。

発展： むね・はら・あたま